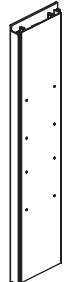
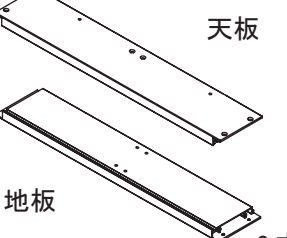
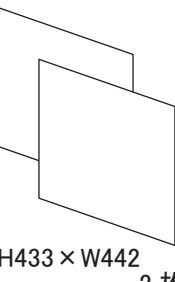
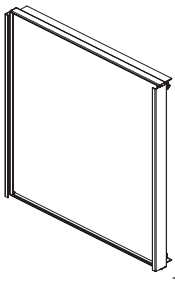
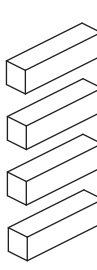
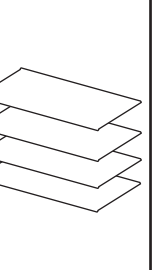
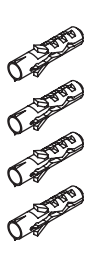
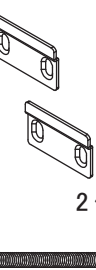
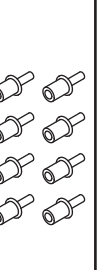
medicine
cabinet

FU09151
取扱説明書　SIZE : H417 × W900

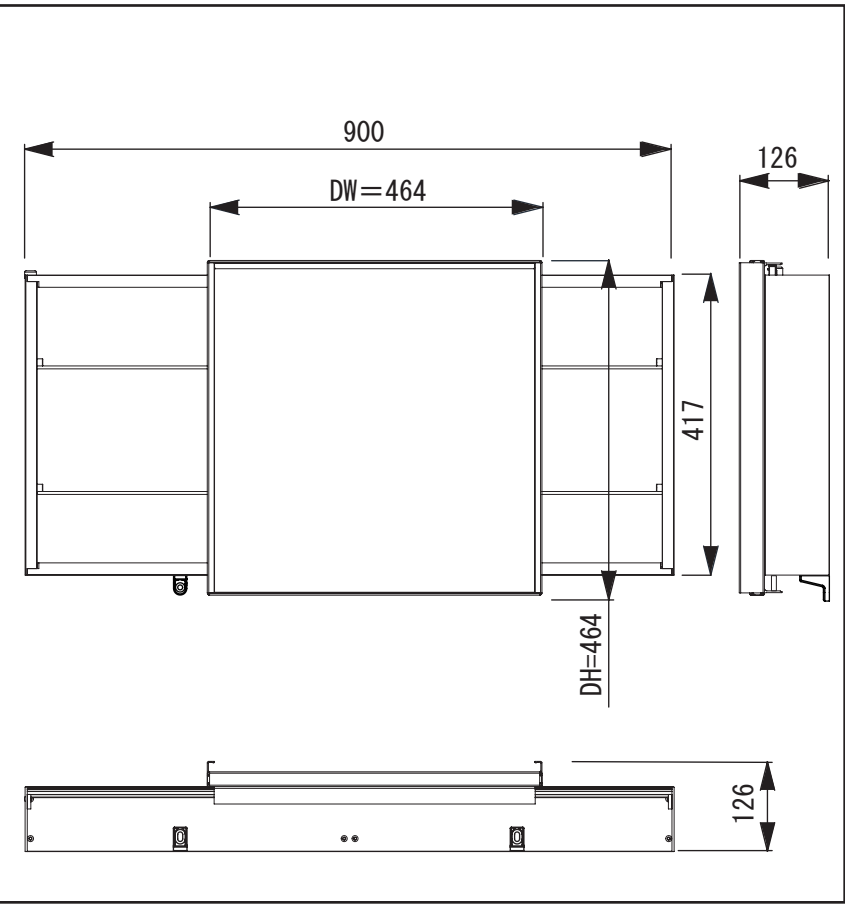
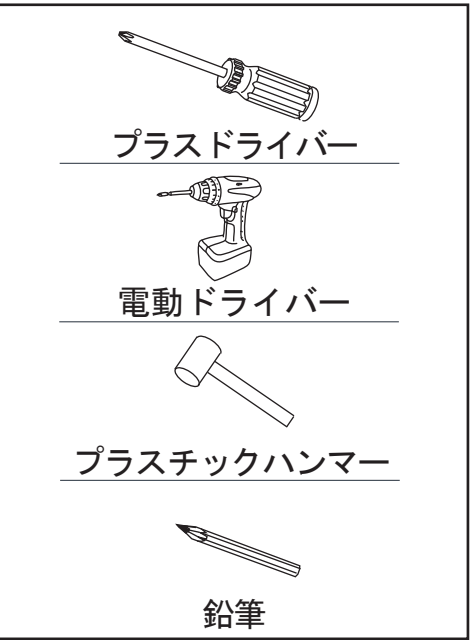
sanwa company

このたびは medicine cabinet をお買い上げいただきましてありがとうございます。
商品を安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取り扱い説明書をよくお読みください。

⚠ご注意	●この商品は屋内専用です。 ●仕様説明書の表示内容にもとずき、安全には充分留意して設計・製作しておりますが表示内容と異なる使用や改造は、破損や落下事故につながりますので絶対におやめください。特に製品の機能を充分に引き出し安全にご使用いただくために耐荷重・取付位置・取付方法・金具使用数などをご確認の上お守りください。 ●性能・品質向上のため仕様・寸法・材質などを予告なく変更する場合がありますのでご容赦ください。 ●組み立ての際、アルミ切断部で指を切るなど思わぬケガをする恐れがございますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

■梱包内容

アルミ側板（共通）	アルミ天板（上用）、地板（下用）	背板（表裏有）	中帆立て（共通）	ミラー扉
2 本	※上下の識別シールが貼ってあります。 天板 地板 2 本	H433 × W442 2 枚	2 本	1 扉

戸当たりクッション	落下防止バー（棚板用、地板用）	ガラス棚板	アンカー	吊り金具	固定用L金具	棚ダボ	キャビネット組立ビス
4 個	棚板用 高さ 10mm 4 本 地板用 高さ 15mm 2 本	4 枚	4 個	2 個 皿T.P4X40　4本	2 個 ナベ小ネジ4X8　2本 皿T.P4X20　2本	16 個	皿T.P4X30 12本

■完成寸法図

■使用工具

■仕様

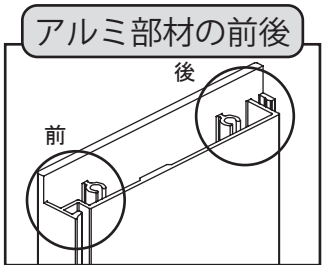
製品重量	9kg
耐荷重	10kg 以下
棚板耐荷重	1kg 以下

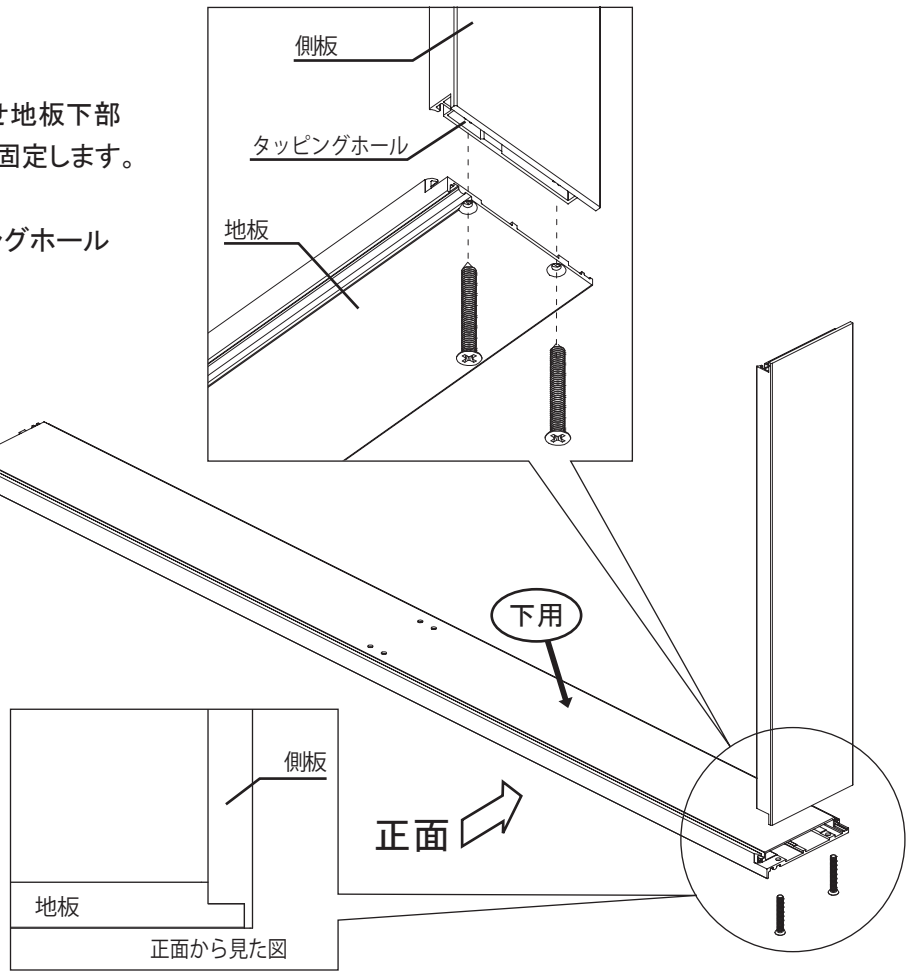
組立説明

※ キャビネット組立後、上下の区別はありません。

① 側板の組立

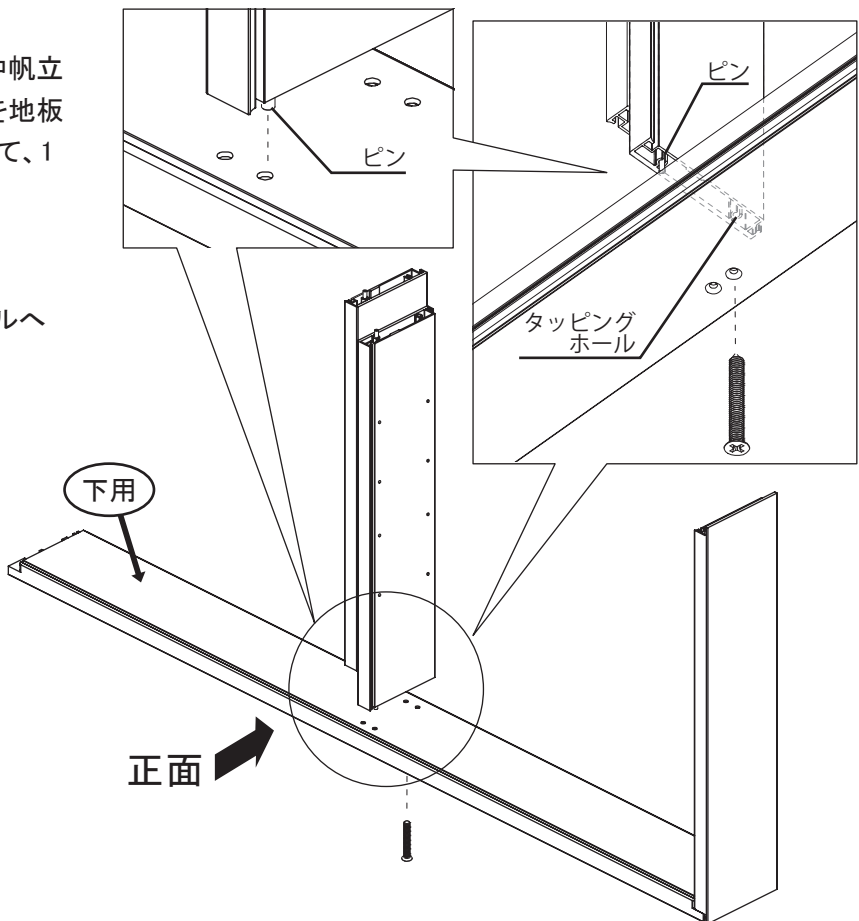
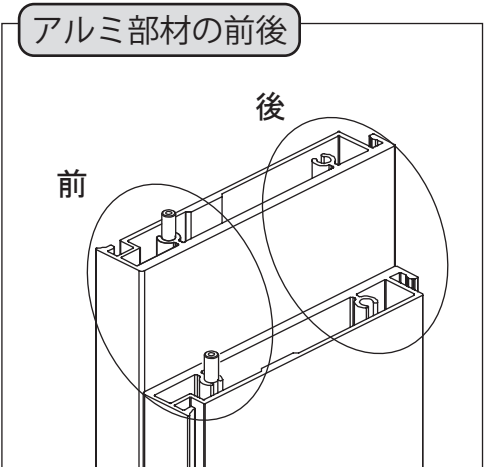
・図のように、アルミの端部を合わせ地板下部よりビス（皿T.P4X30）にて、2箇所固定します。

ビスは、直接アルミ側板のタッピングホールへねじ込みます。

（注意）
アルミ部材の前後の方向性に注意してください。図は右の側板から取り付けています。
左右どちらからでも良いです。

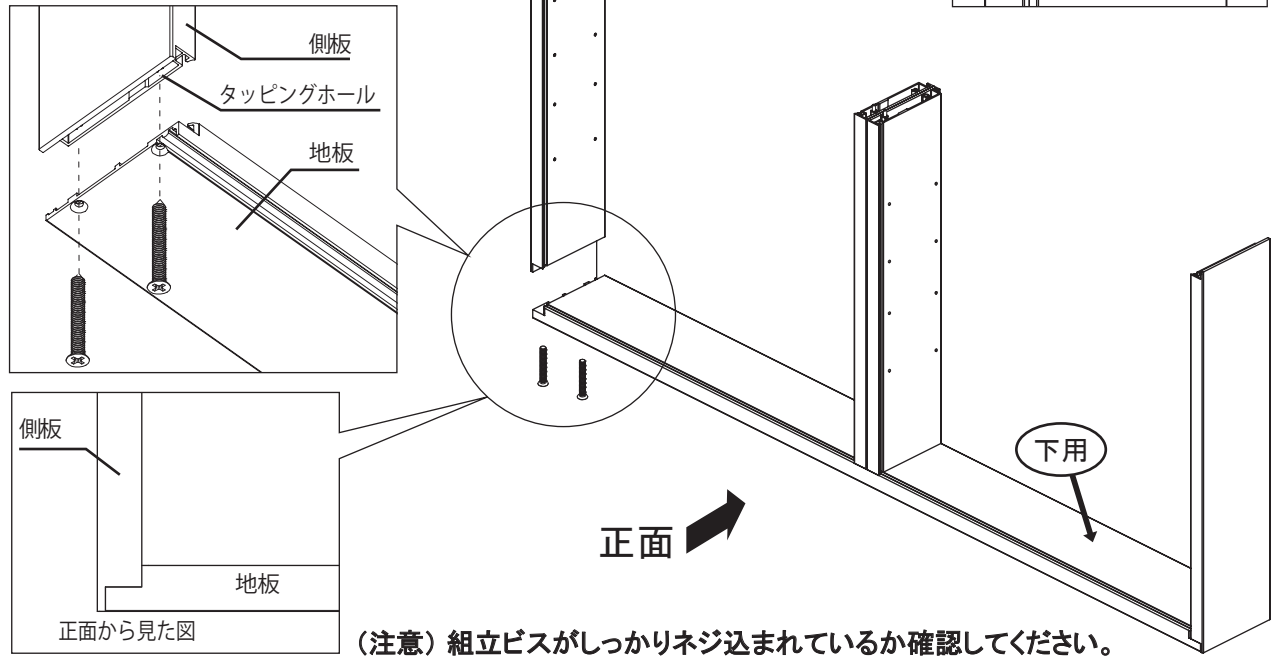
（注意）
地板と側板の合わせ方向に注意してください。

② 中帆立ての組立

・図のように、アルミの地板正面側の穴に中帆立てのピンを挿入します。中帆立ての端部を地板に合わせて、下部よりビス（皿T.P4X30）にて、1箇所固定します。
もう一方の中帆立ても同様です。

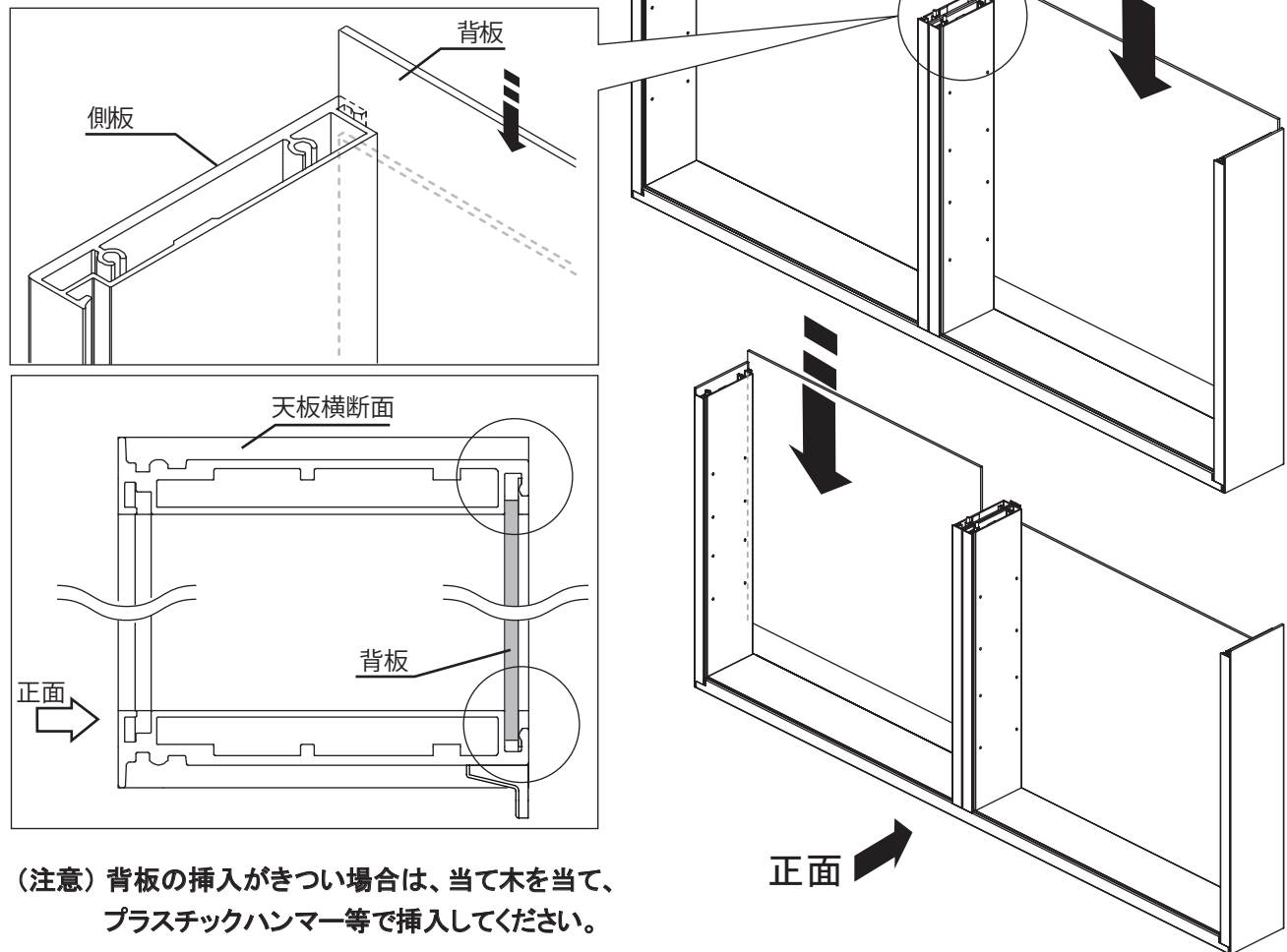
・ビスは、直接アルミ側板のタッピングホールへねじ込みます。

（注意）中帆立て同士は連結しません。

③ 側板の組立

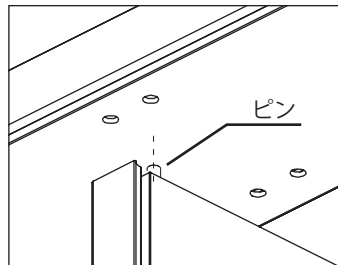
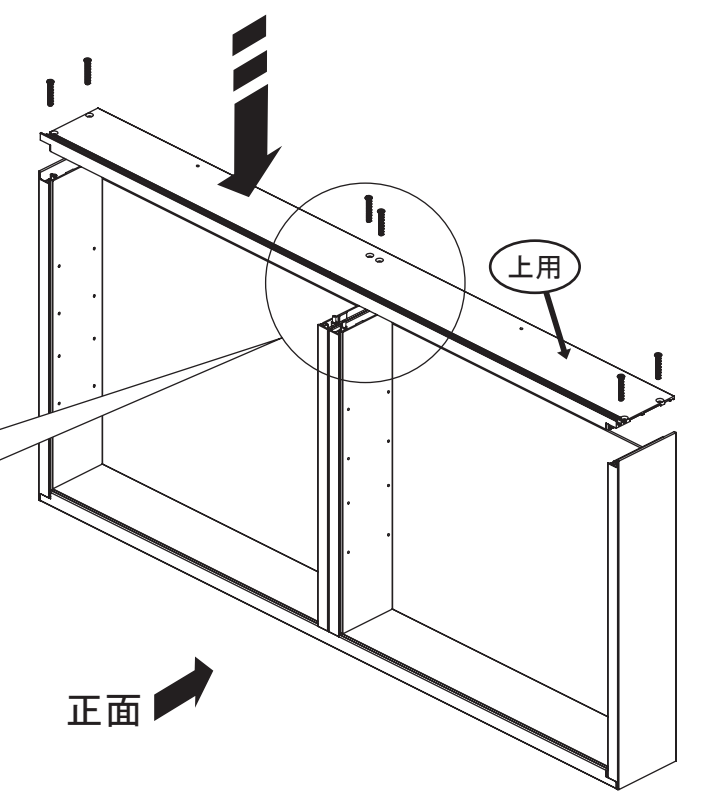
・図のように、①と同様に、アルミの端部を合わせ地板下部よりビス（皿T.P4X30）にて、2箇所固定します。

（注意）組立ビスがしっかりネジ込まれているか確認してください。

④ 背板の組立

・図のように、側板・中帆立ての上部より、背板をスライドさせ挿入します。

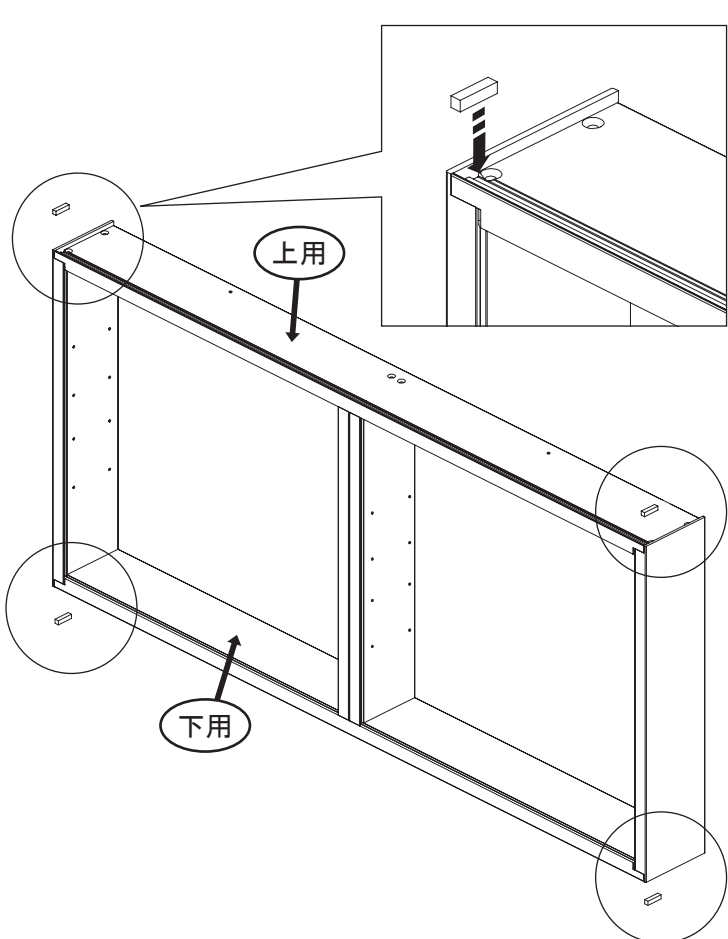
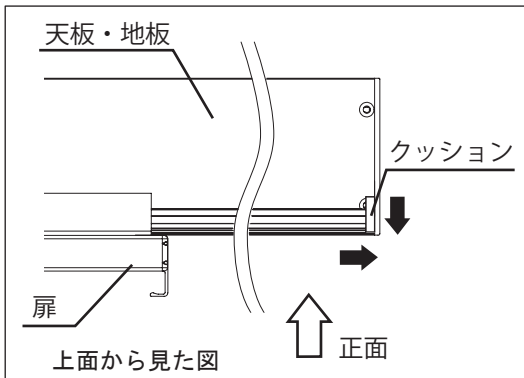
（注意）背板の挿入がきつい場合は、当て木を当て、
プラスチックハンマー等で挿入してください。

⑤ 天板の組立

・図のように、①と②と同様に、アルミの端部を合わせ天板上部よりビス（皿T.P4X30）にて、2箇所づつ（計6箇所）固定します。

（注意）
背板上部には隙間があります。

（注意）
組立ビスがしっかりネジ込まれ、キャビネットにガタつきがないか確認してください。

⑥ 戸当たりクッションの取り付け

・図のように、アルミ天板・地板の両端の角に戸当たりクッションを両面テープで取り付けます。

（注意）
両面テープの取付場所に、ゴミ等がある場合は、きれいにふき取ってください。

（注意）
戸当たりクッションの両面テープは、一度はがすと付きにくくなることがあります。

壁面取り付け説明

※ キャビネットに上下はありません。

⑦ 固定用L金具の取り付け

・アルミ地板の底面2か所の穴に、固定用L金具の長穴の面を、ビス(ナベ小ネジ4X8)にて、固定します。

⑧ 吊り金具・固定用Ｌ金具の取り付け

吊り金具取り付け位置

(注意)芯材のない場所に取り付けると、キャビネットが落下する恐れがありますので、ご注意ください。

(注意)壁が石膏ボードの場合には、壁にアンカーを打ち込み、固定してください。

固定用Ｌ金具取り付け位置

⑨ キャビネットの取り付け

・吊り金具を壁面の芯材のある部分に、**水平に**2個取り付けます。ビス(皿T.P4X40)にて、4箇所固定します。

・吊り金具の上部の隙間に、キャビネット天板裏の溝部を引っ掛けます。溝部へは、多少圧入になっています。溝の奥まで挿入してください。

(注意)
吊り金具への挿入が十分でない場合は、キャビネットが落下する恐れがありますので注意してください。
水平の調整は、吊り金具の固定ネジの長穴にて調整してください。

・固定用L金具を壁側の穴にビス(皿T.P4×20)にて取り付けてください。位置出しは現物にて行います。

⑩ ガラス棚板、落下防止バーの取り付け

・棚ダボを、取り付けたい棚位置の側板に挿入してください。
棚板1枚に付き、4箇所取り付けます。

・棚板前部に、落下防止バーを取り付けます。
側板の溝部に挿入し、反対側は、図のように斜めにさせながら溝部へ挿入します。
(高さ10mmを使用)

・地板への落下防止バーも同様に取り付けます。
(高さ15mmを使用)

(注意)
落下防止バーを挿入時に湾曲させないでください。変形する場合があります。

扉取り付け説明

⑪ 扉の取り付け

・調整が付いたローラーが扉上になります。

・手順①) 扉の下側をキャビネット下部に当て、下ローラーをキャビネット地板の下溝に合わせます。

・手順②) 扉を垂直に持ち上げながら、扉の上側をキャビネット上部に当て、上ローラーがキャビネット天板手前を乗り越えるようにします。

・手順③) 上ローラーをキャビネット天板上の凸部に合わせます。

⚠ **重要** (注意) 落下防止のために、必ず行ってください。

・手順④) 上ローラーの上下調整ネジを時計方向へ2回転以上回します。

⑫ 扉の作動確認

・扉を動かし、異音・ガタつきがないことを確認します。

※ 扉を外す場合は、上記方法の逆を行います。

調整説明

⑬ 扉の調整方法

・扉が左右に傾いている場合、扉の裏面上部の上ローラーで上下調整が出来ます。
・上ローラーのネジを回し、扉が平行になるまで、調整してください。

(注意)
⑪の「扉セット位置」の寸法を守って調整してください。

確認	取り付け後、全体にガタツキがないかご確認願います。ガタツキがあるようでしたら、再度ビスの締め付けをお願い致します。

●●● sanwacompany
株式会社サンワカンパニー / SANWA COMPANY LTD.
● HEAD OFFICE 541-0041 大阪市中央区北浜2-1-7 TEL 06-6229-1024 FAX 06-6229-1082
● TOKYO 107-0062 東京都港区南青山4-18-16-B1F TEL 03-5775-4763 FAX 03-5775-4764
● OSAKA 541-0042 大阪市中央区今橋2-3-21-3F TEL 06-6229-1034 FAX 06-6229-1310
● NAGOYA 461-0004 名古屋市東区葵1-13-8-1F TEL 052-935-2217 FAX 052-935-2218